

令和4年度第10回和田区地域協議会 次 第

日時：令和4年12月21日（水）午後6時30分から
会場：ラーバンセンター 第4研修室

- 1 開 会
- 2 議題等の確認
- 3 議題
（1）地域活性化の方向性について
- 4 事務連絡
- 5 閉 会

【今後の日程】

令和4年度第11回和田区地域協議会
1月18日（水）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

令和4年度第12回和田区地域協議会
2月15日（水）18：30～ ラーバンセンター 第4研修室

第9回和田区地域協議会のグループワークで出た
「地域活性化の方向性」の「構成要素」の意見一覧

カテゴリー	班	構成要素
遺跡	1班	釜蓋遺跡、吹上遺跡がある。
		遺跡を学ぶ。
		釜蓋遺跡、吹上遺跡の発掘の促進。
	2班	釜蓋遺跡の周知。
		釜蓋遺跡、吹上遺跡がある。
		吹上・釜蓋遺跡がある。
		北国街道がある。
		新幹線駅のほんの近くに遺跡がある。
交通	1班	上越妙高駅、えちごトキめき鉄道（妙高はねうまライン）がある。
	2班	上越妙高駅、えちごトキめき鉄道がある。
		新幹線の駅がある。えちごトキめき鉄道の駅がある。
		新幹線 上越妙高駅がある。
		近くに上越高田インターがある。
		高速自動車道 上越高田インターが近い。
		駅、インターが近くにあり、交通の要所である。
農業、食料	1班	新幹線を生かして遺跡の近くで古代米などの農業体験を行う。
		農地の活用（小さい農地を貸して活用、小さい農地で作った農作物の販売、駅から近いことを生かした農業体験など）。
	2班	おいしい野菜がとれる。おいしい食べ物がある。
		周辺の農地では場整備が進んでいる。
イベント	1班	スポーツイベントの開催。例えば、駅を絡めたものを行う。
		大ケヤキ、ひなかざり、花壇の地域活動の継続。
	2班	イベントスペースとして釜蓋遺跡公園の芝生広場等がある。
		上越妙高駅の東口、西口でいろいろなイベントができる。
自然	2班	矢代川への鮭の稚魚放流（和田小学校）。
		矢代川沿いに桜並木がある。
		妙高山の美しい姿が見られる。
開発	2班	駅周辺に新たな開発計画がある。
		新幹線駅周辺で人口が増えている。
マップ	1班	歴史のポイントを巡るマップを作成する。
		地域の遺跡、史跡を調査し、マップを作る。
情報通信	2班	駅周辺に最先端の情報通信基盤がある。

「地域活性化の方向性」の基本形

《和田区の地域活性化に向けて》

和田区の _____ という個性（強み、特性）
をいかして、 _____ 地域を目指します。

○構成要素

・
・
・
・
・
・

委員による「地域活性化の方向性」のアイデア

《和田区の地域活性化に向けて》						構成要素					
						1	2	3	4	5	
駅関連	1	和田区	新幹線 上越妙高駅がある	という個性（強み、特性）をいかして、	活用方法について検討し	ます。					
	2	和田区	新幹線停車駅	という個性（強み、特性）をいかし		ます。	上越地域の海・山のある魅力	県外からの日帰り旅に便利	リモートワーク、出社に便利	乗換駅の役割として駅周辺の美化、景観を保つ	
	3	和田区	新幹線の駅がある	という個性（強み、特性）をいかして、	多種多様なイベントを招致し	ます。	イベントの規模によるスペースの確保	年間を通して定期的に開催できるようなイベント リピーターができるようなもの（フリーマーケット、朝市等）	イベントの例として（イメージ）車、バイク、スポーツ、キャンプ、ペット、酒		
	4	和田区	駅と農地	という個性（強み、特性）をいかして、	都会人に畑、田を貸付できないか考え	ます。	新幹線、トキめきの上越妙高駅がある	時間とお金に余裕のある人が多くいるのではないか	周囲の農地はほ場整備の話が進んでいる	貸付しやすい農地の区割を考えて計画することはできないか	
	5	和田区	大自然の中にある新幹線の停まる地域	という個性（強み、特性）をいかして、	住民や訪れる人の心を豊かにし	ます。	移りゆく四季の魅力の発信	米、野菜、山菜など美味しい物の発信	人と人とがふれあえる企画		
	6	和田区	北陸新幹線 上越妙高駅前 えちごトキめき鉄道	という個性（強み）をいかして、	地域の人々と訪れる人々が交流できる活動をし	ます。	釜蓋遺跡公園を活用した取組の実施				
	7	和田区	上越市の南の玄関	という個性（強み、特性）をいかして、	活性化を進め	ます。	新幹線 上越妙高駅がある	高速自動車道 上越高田インターが近くにある	最先端の情報通信基盤のある拠点	吹上・釜蓋遺跡がある	駅周辺に新たな開発計画がある
	8	和田区	交通（新幹線など）の便がよい、関川・矢代川・雪の恵み、釜蓋遺跡などの歴史	という個性（強み、特性）をいかして、		ます。	今までの地域活動支援事業でかなり対応してきたと思います	さらに体制を整えて地域に発信していけばいいのではないのでしょうか			
駅関連以外	9	和田区		という個性（強み、特性）をいかして、		ます。	遺跡や史跡の整備、案内板等の整備	釜蓋遺跡・吹上遺跡の発掘の促進			
	10	和田区	釜蓋翡翠加工場遺跡	という個性（強み、特性）をいかして、	加工法や流通の解明、検証、発信を提案し	ます。	翡翠の原産地は姫川なのに、加工場はなぜ釜蓋であったのか	過去（縄文～弥生期）に現在より海水面が7～8m高かったとの論文もあり	環濠との関連性があったのではないかと流通との関連	翡翠の加工には石英の微粉末を使用したとの考察はあるが、石針への言及は聞かない	これらの解明、検証に加え、神話なども含めてストーリー立ての考察を発信できれば、もっとアピールできるのではないか。発掘調査結果の展示だけではアピール力が弱い。出雲神話⇄奴奈川姫伝説⇄諏訪神社（建御名方神伝説）
	11	和田区	大和2飛び地 黒田城の史跡	という個性（強み、特性）をいかして、	高田平野が一望でき	ます。	標高283mと市民登山向き	険しい地形を利用した山城の面影あり	信濃方面の警備城としての役割が考察出来る	城山浄水場、新高田発電所も真近に見れる	学生の遠足コースとしても最適

名立区における「地域活性化の方向性」

《名立区の地域活性化に向けて》

名立区の豊かな自然と歴史文化を活かし、次代を担う人を育て、地域で支え合う誰もが安心して暮らせるまちを目指していきます。

○構成要素

- | |
|-------------------------------|
| ・ 地域固有の資源（山・川・海 ほか）を活用した地域の振興 |
| ・ 歴史・文化の継承、平和を願う活動の継続・発展 |
| ・ 次代の名立区を担う人材の育成 |
| ・ 若い世代も一緒になったまちづくりの取組 |
| ・ いつまでも安心して暮らすことのできる福祉の充実 |
| ・ 地域全体での支え合いの推進 |

牧区における「地域活性化の方向性」

《牧区の地域活性化に向けて》

牧区の豊かな自然がもたらす多様な資源をいかして、
活力と魅力あふれる牧づくりを目指します。

○構成要素

・ おいしい水の恵みのPR（米、農産物、どぶろく 他）
・ 豊富にある山の食材の活用（ウド、ぜんまい、ヨモギ 他）
・ 樹木を活用した特産品の企画（メープルシロップ 他）
・ 四季折々に合わせたイベントの開催（灯の回廊、山里コンサート 他）
・ 子どもから高齢者までが生きがいを持って暮らすことの推進
・ 大自然の中の宿泊施設、公共施設の利用促進 （花の植栽、深山荘、歴史民俗資料館 他）

頸城区における「地域活性化の方向性」

《頸城区の地域活性化に向けて》

頸城区の豊かな自然や歴史・文化の資産を活かし、花と緑にあふれ、誰もが楽しく暮らせる「住みたい、訪れたいまち」を目指します。

○構成要素

① 大池・小池を活かした観光

② くびきのお宝（レールパーク、館）の活用

③ 季節の花が咲く通学路、ポケットパークの整備

④ 外国人の交流とファーマーズマーケット（買い物難民対策等）
の企画

⑤ 情報発信、子どもが楽しむ場の創出

板倉区における「地域活性化の方向性」

《板倉区の地域活性化に向けて》

板倉区の豊かな自然や文化、長い歴史をいかして、そこで暮らす人が誇りや愛着をもち、訪れる人が楽しめる地域づくりを目指します。

○構成要素

・ 米や蕎麦などの農作物の美味しさや魅力の発信
・ 豊かな自然環境や歴史文化をいかした企画
・ 美しい景観や里山風景を守る
・ 子どもたちに板倉を愛する心を育てる
・ 冬期間の安心安全な暮らしの推進
・ 「板倉に住みたい」「板倉に住み続けたい」と思えるような、地域づくり

三和区における「地域活性化の方向性」

《三和区の地域活性化に向けて》

三和区は、上越市の中央に位置し、広大な田園や里山、ため池など豊かな自然環境に恵まれています。こうした美しい景観や地域資源を大切にしながら、今後予定されている上沼道三和 IC（本郷）の開通を見据え、住民一人一人が様々な活動に参画し、心豊かで安全・安心なまちづくりを進めていきます。

○構成要素

- | |
|-------------------------------------------------------------|
| ① 自然（谷内池やオニバス等）や田園の環境保全と情報発信 |
| ② 三和区の宝（林富永邸、大間城址、北代ぶどう園等）を巡る通年観光の企画及びイベント等の実施 |
| ③ 安全・安心でおいしい米産地として付加価値の高い地域ブランドの形成と、味噌や地酒、栗などの産品を活用した特産品の開発 |
| ④ 新たな「地域づくりリーダー」や「地域活動コーディネーター」の育成と社会教育の推進 |
| ⑤ 地域活性化に寄与する空き家の活用と移住者への支援 |

○各団体と地域協議会との意見交換＜主な意見＞

◆三和西部工業団地組合（令和3年8月26日）

- ・1年に2回地域住民との交流（団地内清掃活動・納涼会）を実施している
- ・さんわ桜の陣の開催について、工業団地としてもバックアップしていきたい
- ・三和区住民に対する団地内企業の認知度が低い
- ・団地内企業に三和区の若者が勤める方法はないか

◆青少年育成会議（令和3年11月24日）

- ・青少年育成会議の活動は楽しく、人と人とのつながりを大切にしている
- ・様々な活動で体が動く心も動く
- ・人生の先輩として何を後輩に残せるか。そこが決まらないと三和は元気がでない
- ・育成会議のメンバーは、当初充て職だったが、声掛けで人数を増やしていった
- ・コーディネーターは、校区の偏りを無くして後継者を見つけていきたい
- ・イベントの企画は大人が主体であったが、今は中学生が企画し、郷土を良くしようという気持ちが伝わってくる
- ・さんわ祭りや体育祭の企画立案も、小・中学生が参画すべきである
- ・いくら良いことをしても、地域住民が知らなければ、それで終わってしまう
- ・地域づくりやまちづくりは、ボトムアップで自ら動いて取り組むものである
- ・声掛けができる環境を整えば、世代を超えた交流も可能となる
- ・表に出て活動をすることも大切だが、自分ができる範囲の中で裏方として何ができるのか、受け身でなく自分で考えて行動していくことが大切である

◆町内会長協議会 1回目（令和4年4月7日） ※意見交換

- ・町内に空き家が増えて、建物の倒壊が心配である
- ・少子高齢化により、町内会活動が停滞している
- ・町内会役員のなり手がいない
- ・町内会長がいなくなる時代が来たら、行政はどのように対応するのか
- ・地域活動の負担が大きく、行事に参加しない人や区外に移住する人もいる
- ・移住者と地域住民との意思疎通に支障が生じている
- ・農業の後継者が不足している
- ・山間部の農地が耕作放棄地となり荒廃している
- ・冬場に一人住まいの高齢者が安心して入居できる場所がほしい

◆NPO法人 三和区振興会（令和4年8月18日）

- ・地域活性化の方向性（案）について、構成要素の取組①～⑤は、記載内容のレベルを合わせて、それぞれで具体策が出せるかが勝負になる（振興会）
- ・三和区振興会の財源確保について、区内の団体や企業からも振興会の活動に賛同いただき、会員を増やす取組も有効だと思う（地域協議会）

◆町内会長協議会 2回目（令和4年11月24日） ※方向性（案）に対する意見

- ・米産地として、農業者を育てていくような取組も入れてほしい
- ・三和区地域福祉活動計画とタイアップしながら、取組を進めてほしい

○三和区の主な課題（まとめ）

- ・三和区の活性化に尽力できるリーダーの発掘
- ・まちづくりリーダーの育成
- ・三和区ネットワーク会議における主要団体との連携の強化
- ・少子高齢化に伴う高齢者世帯及び空き家の増加抑制
- ・空き家の活用
- ・世代間の交流の場及び子どもと高齢者の居場所づくり
- ・三和区の名所・旧跡や自然を活用した賑わいの場づくりと積極的な情報発信
- ・三和の素晴らしい景観を形成している溜池や丘陵地の保全活動
- ・集落機能の維持と強化
- ・高齢化に伴う農用地等の保全と持続可能な営農活動